

広島を賑わす
まちづくり

弁当 8

高須二丁目西地区の
良い環境を守る会

地域に住む人と土地を持つて
いる人が、マンション計画を契
機に地域のあり方について協議
・調整を粘り強く重ねながら、地
区計画をまとめていきました。
じっくり時間をかけて住み心地
の良い地区にしていこう、バラン
スの取れた和風弁当です。

熟成5年モノの梅干し

地区計画決定まで5年の歳月
マンション建設計画をきつ
けに、建築物の高さを12m以下
とすることなどを内容とする
「地区計画」作りが始まりまし
た。都市計画決定までには約5
年の歳月がかかりました。これ
は、一般地域の都市計画の規制
に加えさらに制限をかけるわけ
ですから、住民の一部から「権利
の侵害である。」とする反対が出
たことへの粘り強い説得に時間
を要したからです。

スジの通ったふき さらみ住み心地よく

地区計画決定後は、塀を生垣
にし、夏には打水をするること
により、涼しく快適な環境を目指
してはどうかと考えています。
ずっとスジの通ったフキのよう
に、気長に、しかし前を向いて爽

やかな界限を作りつていきたい
と思つています。

また、近隣の踏み切り問題（幅
が狭いため渋滞）についても、隣
接町内会などとともに引き続き
検討しています。

活動費はもちより とりそぼろ

そぼろの一粒一粒は小さ
くても、そぼろ全体で美
味しいおかずであるよ
うに、活動費は有志が
持ち寄つて賄つてい
ます。町内会の全て
が地区計画区域で
はないなどのた
め、町内会費は
使つていません。
今後もし引き続き
このように行つ
ていきます。

くりきんとん 平成19年度まち づくり月間国土 交通大臣表彰受賞

5年の成果を評価
されたことを、つやや
かな照りをもつたくり
きんとんに見立てて、お
弁当のアクセントにしま
した。まちづくり月間国土
交通大臣表彰は、国土交通大
臣が、魅力あるまちづくりの推
進に努め、特に著しい功績の
あつた団体等をまちづくり功
労者として表彰するものです。

一つひとつは小さくとも
旨み集めたとりそぼろ
有志の持ち寄り活動費

じっくり漬けた熟成の味
じっくり説得 みんな納得

爽やかに
スジを通して
生垣 打ち水
夏涼しく快適に

つややかに照る
弁当のアクセント
成果を称え、今後の励み

高須二丁目西地区の良い
環境を守る会

じっ
くり
吟味して
作った和風弁当
素材厳選、
手間ひまかけて
つくりました。

高須二丁目西地区の良い環境を守る会
活動分野:まちづくり
発足年:平成11年(1999年)
連絡先:広島市市民局
市民活動推進課まちづくり支援担当
電話 082-504-2677
FAX 082-504-2066
Email toshikan@city.hiroshima.jp

広島を賑わす
まちづくり

弁当たち 8

高須二丁目西地区の
良い環境を守る会

発足のいきさつ

平成11年7月に、当地区内の土地の所有者（企業）がマンション建設計画（7階建て分譲住宅）を立案し隣接地権者等に計画の説明を行いました。これを契機に低層住宅主体の比較的閑静な住宅市街地の住環境を守ろうと地元住民の気運が高まり、高須二丁目西地区の良い環境を守る会が発足しました。

同会では、マンション建設に関する勉強会や当マンション事業者との話し合いを行うとともに、地区内を調査したところ企業の社宅等も点在するため、今後同様の問題が発生する可能性が高いことに気づき、建築制限に関する制度（地区計画、建築協定等）について勉強会を重ねることになりました。

平成12年1月と2月の2回の地区内住民へのアンケートにより、住民の意向やルールの内容等について確認を行った結果、同会の活動としては地区計画を

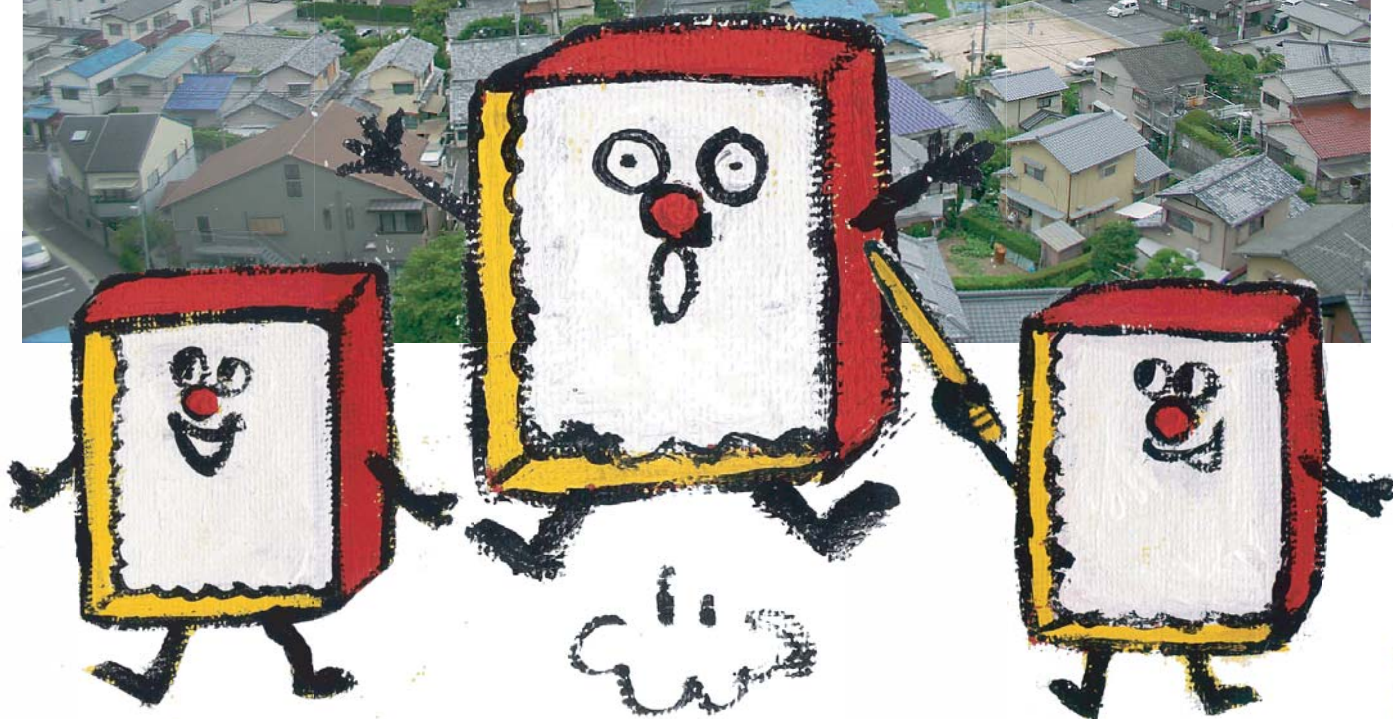
策定する方向に進むことになり、その後、これに反対する地権者や地区内に土地を所有する企業等との協議・調整を粘り強く重ね、概ねの合意を得て地元住民による地区計画の素案を策定しました。

地区計画案の制限内容は、①建築物の用途の制限、②建築物の高さの最高限度12m、③建築物等の形態又は意匠の制限（屋外広告物を自己用に限定等）の3点でした。

なお、都市計画に関する手続きとしては、平成15年4月に地区計画決定要望書を広島市へ提出し、これにより市は都市計画手続きに着手し、平成16年4月に都市計画決定をしました。



TAKASU



広島を賑わす
まちづくり

弁当たち 9

東観音台連合会



好き者がやる!! 二れど東観
おまつり弁当の隠し味

東観音台連合会

「このままでは、まちに活気がなくなる!」それなら「町内の祭り好きでみこしを復活させよう!」

お祭り好きが集まって手作りで始めた手弁当のイベント。イベントだけではなく、息の長い取り組みも加わってバラエティのあるおかず(活動)が入っています。事務局という隠し味が利いた味わい深いお弁当。

タコの八ちゃん
八方美人
四方八方情報集め
情報新鮮
見のがせん

町並み爽やか
おのずと笑顔
笑顔は真っ赤な
おひさまトマト

愛情くるんだ
たまご焼き
ふれあい場づくり
親子で語らい

日持ちの塩ジャケ
大事なもののジャケ
もりするんジャケ

旨みたっぷりハンバーグ
ブレスト飲み会ミーティング
多彩な人財 イベント満載

ベランダ菜園レタス
安全安心
わんわんパトで
町内安全

成功の肝心要は隠し味
大事な段取り
事務がはかどり

東観音台連合会
活動分野:コミュニティ
発足年:平成17年(2005年)
連絡先:広島市佐伯区東観音台2丁目27-8中倉方
HP <http://kannondai.com/rengoukai.html>
Email yoshiya@cc22.ne.jp

塩ジャケの財産管理委員会
による施設と備品の管理

財産管理委員会は、集会所の維持管理と備品管理をしています。町内会の財産を長く守る役目があります。そこでお弁当には日持ちする塩ジャケとして登場しました。

団地内の2つの集会所運営やみこしやテント等の備品管理。建物の維持管理と会場や空調機等の利用料金の授受、カギの受け渡し等が常時行われています。お店の協力が陰の力になっています。

みんな大好きハンバーグイベント委員会

町内のイベントを企画しています。皆の大好きなイベントを旨み(楽しみ)たっぷりハンバーグにしました。約40人の多彩な人財「集団です。毎年のイベントでは新企画を生み出すために、会議はブレインストーミング方式で、飲みながら会議がアイデアの源になっています。

無農薬ベランダ菜園レタスと安全・防災委員会

防犯・交通安全・自主防災等の取り組みグループ「わんわんパトロール」。町内の一斉安全点検、車のスピード警告、高校生の自転車マナー指導、避難訓練等を行っています。町内の安全安心を担っていることから、無農薬ベランダ菜園レタスをお弁当にあしらいました。

たこウィンナーの広報委員会
のホームページ・新聞

町内のことに関心を持ってもらうために、身近な出来事を記事にした「東観音台新聞」の発行(全戸配布約1100枚)と行事の際にはポスターでもPRをしています。

一方、タイムリーな情報提供や会議の場以外での意見交換ではホームページが大活躍。掲示板への書き込みがニュース源にもなっています。

イベント開催時には広報車(普通車に放送設備を搭載)が町内を回ります。

あの手の手の人寄せ作戦で四方八方に手を伸ばすたこウィンナーです。

うめぼし事務局

連絡・調整・記録・準備等、裏方の活動は、そのまま会の活力と信用につながっています。

こうした目立たないが重要な役割の事務局を、梅干としてお弁当に登場させました。

ブレインストーミング会議では、模造紙にキーワード記録したり、議事録の整理や配布という「隠し味」進行や議事録の1週間以内の配布という「隠し味」が利いています。また予算・決算は必ず監査報告をつけ町内会総会に提出します。

真っ赤なおひさまトマト環境委員会

環境委員会は、きれいな町並みづくりを目指し、まちの緑化や、違反広告物撤去活動をしています。

違反広告のない町並みは、歩く人も爽やか。おのずと笑顔が出るというものです。そんな笑顔を見つ赤なおひさまトマトとして表現しました。

市の認定推進員14名を中心に、「違反広告物ゼロ地域」を実現しました。

また地域で制定している

「建築緑化

規定」の遵守

についても、

建築主に警告・

指導を行い、豊

かな居住空間づ

くりを推進中で

す。

たまご焼き 青少年育成委員会

青少年育成委員会は子ども会の再生を支援しています。3町内会の青少年育成部と連携し、「みかん狩り」の野外活動を実施。子どもと地域の人とのふれあいの場づくりとして、「子ども農園」も開設。秋の収穫祭とフェスタでは、「子ども屋台」も企画中です。親の愛情と同じように、子どもを地域ぐるみで育てるということとを、心のこもった卵焼きにしました。

ふりかけ「ビジョン」研究会

「将来ビジョン（中期計画）」の確立と達成度のチェックや目の前の問題解決について調査・調整・解決へのサポート等を行い、町内会の「駆け込み寺」としても活躍しています。



発足のいきさつ

平成15年の春、長い活動の歴史をもった「観音西学区子ども会連合会」が解散。遠因は「役員になると大変だから…」というところで、子どもの参加意欲とは関わりなく保護者の子ども会離れが加速したことになりました。子ども会解散の余波は、子ども会中心だった秋祭りのみこし町内巡行中止につながり、まちの活気も急速に下降線をたどることになりました。

それなら「お祭り好き人間でみこしを復活させよう！同時に町内会役員の負担になつていゝ夜店や屋台の運営もわれわれが引き受けよう！」と、まちの有志（現役世代の壮年層が中心）で動き出しました。東

観音台団地に3つある町内会も「それなら助かるので運営資金は負担しよう」ということで、平成16年に「東観音台フェスタ2004」が実現しました。前夜祭と本祭りの二日間、みこしの町内巡行、神楽、夜店、音楽会、抽選会、オークション等を行いました。まちに活気が戻り、年末のカウントダウン実施にまで発展しました。

翌年、町内会サポート組織として、従来の財産管理委員会に加え「東観音台連合会」をスタート。防犯、防災、交通安全、青少年育成、地域環境、広報などの各委員会（有志の地域NPO）を立ち上げ、事務局機能の充実が行われました。



東観音台連合会